

経営比較分析表（平成30年度決算）

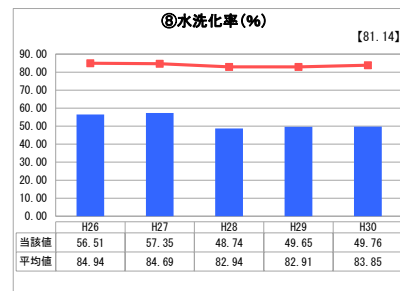
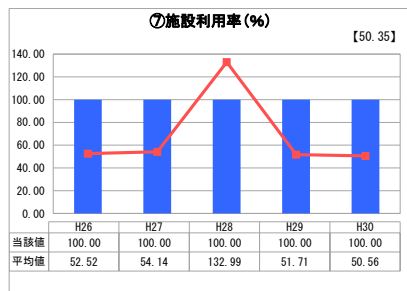
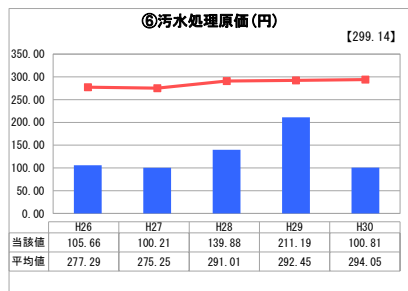
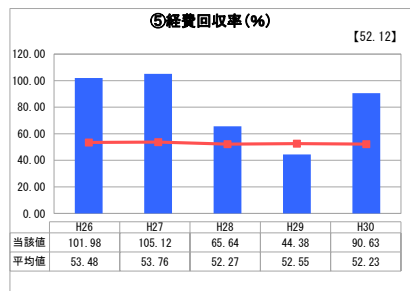
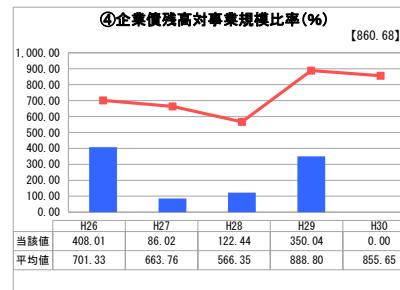
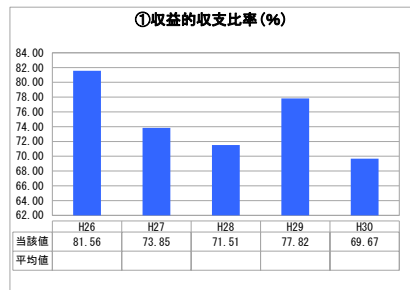
岐阜県 揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	8.73	100.00	5,616

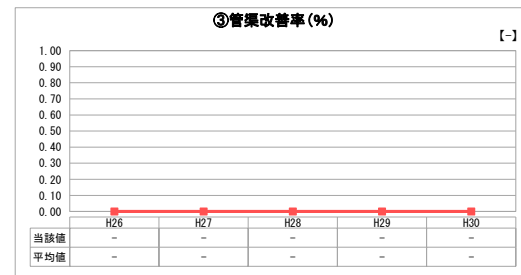
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
21,274	803.44	26.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,845	2.03	908.87

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

個別排水処理において、収益的収支比率が下落傾向にあり、経営改善の成果が上がっていない。これは、整備成果が上がっていく一方、機器等の故障に伴う修繕が発生しており、維持費が増加しているものと考えられる。

消費税増税前の住宅新築リフォームに伴い、新設改良費に伴う企業債残高も増加している。

企業債残高対給水収益比率は、企業債残高にかかる一般会計等において負担する金額が同額となり0となった。

また、経費回収率としては、平成27年度までは概ね100%を超える値となっており、比較的高水準で推移していたが、平成28年度に集合浄化槽（1,000人槽）を農業集落排水施設へ接続したことにより、使用料収入が減少し、44%まで低下したが接続数が増加し経費回収率が増えたと考えられる。

今後は未納対策により更なる使用料収入の確保に努め、収益比率が上がるよう努める。

2. 老朽化の状況について

町に譲渡された集合処理浄化槽は、供用開始から30年以上が経過している施設があり、施設の老朽化が懸念される。

集合処理であれば、浄化槽本体に加えて流入管路も更新する必要があるため、計画的な更新が行えるよう現状を把握するとともに、躯体及び流入管路の調査を行い、長期的な更新計画を作成する必要がある。

全体総括

個別排水処理における経営は、清掃手数料や法定検査などの管理経費（経常経費）を削減することは困難であると考えられるが、使用料金の未納世帯に対する徴収の強化や計画的な維持修繕を行い、必要な経費を長期的にとらえ、また、令和元年度に策定する戦略に基づき、継続的な維持管理費の抑制と未接続世帯への接続推進に努め、より健全な経営管理に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。